

- 本競技会は、2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって行う。

競技規則及び競技者・指導者の注意事項

1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は、トラック競技は開始予定時刻の40分前～20分前とする。
- (2) 四種競技の招集については、最初の種目のみ上記（1）の時間で行う。次の競技からは、競技開始時刻に遅れないように注意して、招集所で競技者係の点呼を受けてから競技場所へ集合すること。（現地集合ではない。）
- (3) 招集所においてアスリートビブス（ビブス）・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないの、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。
- (4) 朝の時点で欠場が決まっている者については、欠場届を朝の学校受付時に提出すること。尚、その後怪我等で欠場する者が出た場合には、本人または代理人が招集所に、招集完了時刻までに欠場届を提出すること。
- (5) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。なお、競技規則 TR16.5 / TR16.5.1 / TR16.5.2 / TR16.5.3 は適用しない。
四種競技については、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。

4. 800mはセパレートレーンで実施する。

5. バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある。）

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある。）

男子：1m30-40-45-50-55-58・・・以降3cmずつ

女子：1m10-20-25-30-35-40-45-48・・・以降3cmずつ

6. 競技用シューズの規定について ※四種競技も同様とする。

使用するシューズについては、競技規則 TR5 を適用する。ただし、競技規則 TR5.5 の適用は除外する。なお、トラック競技については、靴底厚の計測を行う。

競技前に規定値外と確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。また、招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

7. AD規制について

本競技会で使用する全ての会場は、AD規制を行う。入場する際は、必ずADを提示すること。ADを提示できない者の入場は認めない。

8. その他

- (1) トラック競技の出場者は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカード（シール）を招集所で競技者係から受け取り、パンツの右横（800m以上の競技については両腰）、やや後方に付けること。なお、安全ピンは各自で用意すること。
- (2) 選手は、第4ゲート（200mスタート付近）からの入退場及び第1ゲート（100mスタート後方）から退場することができる。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲート（200mスタート付近）又は第1ゲート（100mスタート後方）から退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- (3) スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。
- (4) アスリートビブス（ビブス）の数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- (5) 大会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、声を出しての集団応援は禁止とする。観戦時はソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを着用すること。
- (7) スタンド最前列や通路で立ち止まっての観戦は禁止とする。
- (8) メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置については対付・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- (9) ウォーミングアップについては『練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- (10) 朝の練習開放時間帯は第1・3・4ゲートを開放する。